

南山小児童見守り隊 設立趣意書

学校法人南山学園では、2008年4月開校を目指して、南山小学校の復活に向けた取り組みが行われ、初等教育から高等教育までの一貫教育の完成が実現しようとしております。学園創立者が1936(昭和11)年に設置した南山小学校は、太平洋戦争へ突入していく中で、やむなく廃止されたわけですが、学園創立75周年の記念すべき年に蘇ることは、大変喜ばしいことです。

しかし、昨今の社会状況は当時とは隔世の感を禁じ得ません。ご承知のとおり、日本中において小学生の通学を狙った犯罪が多発し、毎日のように新聞等で報じられております。南山小学校は、地域の児童を教育する公立の小学校とは異なり、かなり広い地域から児童が通学することが予想されますので、児童の安全性をいかに確保するかは重要な責務と考えております。

安心、安全を確保するためには、防犯ブザーや携帯電話など、様々な道具も用意されてはおりますが、信頼できる方々によって見守られている、ということが何より大切なのではないかと考えております。

そこで、児童の安全を見守る「南山小児童見守り隊」を設置することといたしました。

【 目 的 】

南山小学校児童の登下校の安全を見守ることを通して、南山学園の一貫教育の実現を支援する。

【 主 な 活 動 】

- ①「南山小児童見守り隊」の会員として、協力可能な範囲において児童の通学路へ直接出向いて見守りの活動を行う。
- ②「南山小児童見守り隊」の会員として、児童の通学途上にある居所または事業所等を、協力可能な範囲において避難場所等として利用できる便宜を提供する。
- ③南山小学校の児童の保護者とも協力し、協力可能な範囲において南山小学校児童の登下校の安全を見守る活動を支援する。